

9月の出水について

三春ダムでは今年2度目の洪水調節を9月4日（土）に行いました。雨は秋雨前線によるもので、午後2時から降り始め、流域平均で時間最大19.9mm、総量で52.6mmを観測しました。

この雨により、ダムへの流入量が4日（土）午後8時に計画洪水量 $100\text{m}^3/\text{s}$ を上回ったため、洪水調節を開始しました。最大流入量は $114\text{m}^3/\text{s}$ 、最大放流量は $60\text{m}^3/\text{s}$ で $54\text{m}^3/\text{s}$ の洪水をダムに貯めることにより、ダム下流河川水位の上昇軽減を図りました。（写真はコンジットゲートと1号バルブで洪水調節中の三春ダム）

今回の洪水は雨が短時間で降り止んだため、三春ダムでの洪水調節は2時間と短いものとなりました。阿武隈川本川も同じ状況で、郡山市阿久津水位観測所で水位が指定水位に達せず、災害を生じる様な洪水とはなりませんでした。



小洪水となりましたが、もしダムが無かった場合、ダム下流大滝根川沿いの県道が洪水で冠水し、全面通行止めとなり周辺地域の方々への被害が生じる心配もありました。

今後とも気を緩めずにダム管理にあたっていく所存です。

出水時の情報発信

三春ダムでは、緊急情報として出水時等における情報をホームページから発信しております。

9月4日（土）の出水時の画面が、下の【図-1】となります。その時点の降雨状況や、被害・応急復旧の必要な場合も状況について発信いたしますのでご覧下さい。



【図-1】

項目	内容
降雨状況	流域平均時間雨量
	流域平均累加雨量
ダムの状況	流入量 貯水池に流れ込む水の量
	放流量 ダムから下流に流す水の量
	貯水位 ダム貯水池の水位
	調節量 貯水池に貯め込んだ水の量
管理所の体制	災害対策体制について記載
今後の見通し	今後の降雨、流入・放流量、下流河川の水位などの見通しについて記載

9月4日（土）緊急情報記載内容

三春ダム管理所ホームページ

<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu/index2.htm>

東北地方整備局ホームページ

<http://www.thr.mlit.go.jp/>

「景観デザイン研修」を受けて

管理係 高橋 良久

平成16年9月13日(月)～17日(金)まで景観デザイン研修を受講してきました。

景観デザインのイメージですと、河や道路のスケッチでも綺麗に描いて…なんて思ったら、大間違い！500分の1スケールで模型を作ってきました。(写真参照)

対象となる現地を視察し、初めて模型作りの基礎を習い「周辺地形・橋梁・公園」を作成しました。また模型以外にも景観について検討する



場合「対象地域の歴史・環境・境遇などのコンセプト」を決定する必要がある、本当に、いやかなり盛り沢山の内容でした。

今後は、対象構造物だけ景観検討するのではなく、その地域も含めて検討する必要があることを学びました。即実践でとはいえないが、この研修で学んだことを少しでも業務に活かしたいと思います。でも模型作りは勘弁…。

河川行政Ⅰ(計画)研修に参加して

管理係 菅原 良太

8月30日(月)から9月3日(金)までの一週間、多賀城の研修所に行ってきました。

研修は河川行政に関するもので、現在までの行政の流れから最近の話題、河川の特長や河道計画、環境に関する基礎的な部分の講義、補助河川や砂防などの事業、河川整備、管理といった内容でした。

三春ダムで仕事をしていて、河川の特長、河道計画の内容は、下流への土砂供給の検討をする上で基本となる部分です。他にも弾力的管理など、ダム下流のよりよい河川環境づくりに取り組む上でも、研修で出た内容は河川に関する基礎的な部分なので、復習して早く身につけ、今後の業務に役立てたいと思います。

広域計画研修に参加して

電気通信係 若林 文孝

9月13日(月)から17日(金)まで多賀城研修所にて広域計画研修を受講してきました。

日程の半分は、各地で行われている街おこしや都市再生の成功事例の講義、半分は広域生活圏における問題点の整理と地域活性化の方策検討という内容でした。

日常の電気通信業務とはかけ離れた内容のため、研修の案内が届いた時には「いったい何をすればいいの？」とかなり不安だったのですが、始まってみれば講師の方々の面白いトーク(もちろん真面目な内容です)や、課題として与えられた地域の良い面・悪い面の再発見など内容は充実。

「こんな業務もあるんだなあ」と改めて国土交通省の業務の幅広さを感じました。

船の免許を取りました!

総務係 熊谷 卓也

9月2日(木)から4日間、塩釜海技専門学院において行われた2級(限定)小型船舶操縦士免許講習会に参加してきました。

この免許を取得すれば、5トンまでの大きさの船で沿岸から5海里、つまりさくら湖の船による巡視に携わることができるので、毎年未取得の職員が受講しています。

講習会は学科と実技が2日間ずつ行われ、漁業関係者、消防士、趣味のために取得する人など8名が参加しました。学科では、海上交通ルールから運航に関する具体的な方法までを学び、実技においては講師からの指導を受けながら、皆緊張した面持ちで操縦を体験しました。

初めは慣れない揺れに気分が悪くなりましたが、後半は余裕をもって操縦できるようになり、実際の巡視に向けて心構えができた講習会となりました。



無事故無災害を目指して

平成16年度事故防止対策協議会総会を開催

8月30日（月）、三春ダム管理所事故防止対策協議会の平成16年度総会が開催されました。

はじめに、大類管理所長から開会のあいさつがあり、引き続き佐藤管理係長より平成15年度の地方整備局管内の労働災害発生状況についての説明がありました。



次に、事務局より平成15年度の活動報告と、平成16年度の活動方針案の提案があり、それぞれ承認されました。

続いて、郡山労働基準監督署の清水課長より、今年の福島県内での労働災害の発生状況について説明を頂きました。また三春警察署の穂積課長からは、交通事故防止に関する講話を頂きました。



事故や災害は、日頃の心構えが大切です。今年度も無事故で、1年を過ごせるよう、職員の皆さん、請負業者の方々のご協力をお願い致します。

大規模災害時の情報伝達・防災体制の徹底 平成16年度総合防災訓練を実施

本年度も防災月間の初日である9月1日（水）に、国土交通省一斉の防災訓練が行われました。

訓練当日は、午前9時30分に宮城沖を震源とするM7.3の地震が発生し、三春ダム堤体基礎部において、震度6強を観測、との想定で訓練を開始し、支部設置訓練、設備点検訓練、被災箇所の応急復旧訓練等を午後1時30分まで行いました。

訓練終了後は、会議室においてテレビ配信による本局からの総評があり、局長からは「機器頼りすぎないこと」などの話がありました。

その後、管理所内の反省会を行い訓練を通して気づいた点や、改善の必要な点について意見を取り交わしました。

また反省会の後、大類所長から地震発生の仕組みや、地震のエネルギーなどについて講話を受けました。

最後に、訓練当日、午前11時49分頃に福島県沖を震源とするM5.8の本当の地震が発生し、ダム堤体基礎部では震度2を観測しました。観測震度が点検の必要となる震度ではなかったことで、この日2回目の点検を行うことがなく安堵した幸いです。



ミ〜ちゃんさんんくんの なぜ?なに?さくら湖



Q1. 三春ダムが出来る前は、どんな所だったの?

A1. 現在三春ダムがあるダムサイトは、郡山市から東に約10km、全体にはなだらかな丘陵地の中で西方溪谷と呼ばれる狭窄部でした。

また三春ダムを造ることで、小学校、中学校、郵便局、駐在所など多くの人達が移転しなければなりませんでした。移転家屋は158戸、697名の方が移転されました。

(下写真はダムサイトや春田大橋の建設が終了し、さくら湖が湛水する前の風景)



家や畑があるのがわかるね。



資料館の1階には先月から、さくら湖周辺のパネルを設置しました。パネルは1.8m×2.2mと大きなもので、資料館奥の壁に設置しました。

パネルには、現在のさくら湖とその周辺の地名の他、水没(移転)した施設や神社・遺跡などの名称が標されています。



さくら湖ができるまえのようすもわかるのね。



縮小版(A3)も置いてあります。三春ダム資料館に遊びにきてね!



9月の見学者

9月10日(金) 双葉郡浪江町立浪江小学校のみなさん 103名

9月14日(火) 郡山市立三和小学校のみなさん 40名

9月16日(木) 郡山市立朝日が丘小学校のみなさん 113名



9月24日(金) 都路村立大久保小学校のみなさん 7名
(左写真)

編集後記



日没が早くなってきました。秋の味覚も市場をにぎわせ、食欲も増してきました。これから、さくら湖は秋の姿に移ります。紅葉に囲まれながらの通勤や仕事が楽しみです。(菅原)

資料館からのお知らせ

1階の展示ギャラリーでは、作品の展示スペース(絵画・陶芸・手芸・写真など)を無料で開放しています。

三春ダム資料館に、あなたの作品を展示してみませんか。お問い合わせは、三春ダム管理所水質係(0247-62-3145)までお気軽にご連絡下さい。

編集・発行 国土交通省東北地方整備局
三春ダム管理所

皆様のご意見や情報の提供をお待ちしています。

〒963-7722

福島県田村郡三春町大字西方字

中ノ内403-4

TEL 0247-62-3145 FAX 0247-62-3170

ホームページ

<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu>